

4. 認可小規模保育事業所: 健生くまのこ園 2024 年度 経営方針

I. はじめに

健生くまのこ園は、2024 年 10 月を目途に定員 12 名(0 歳児 2 名、1 歳児 5 名、2 歳児 5 名)への変更を予定しています。この変更は、加速化する少子化への対応、一人一人に手厚い保育の実践による質の向上、コンパクトな職員体制による費用対効果の向上、収支の改善、人件費の適正化、評価基準の再構築、給与体系の見直し、その他改善事項の抽出などを目的としています。

本計画は、上記の取組を通して小規模保育の経営的な安定基準を策定することを目標としています。

II. 年間目標

- 2024 年 10 月 1 日付けでの定員変更(0 歳児 2 名、1 歳児 5 名、2 歳児 5 名)
- 1 年間の収支決算と経営状況に基づき、小規模保育の経営的な安定基準を策定

III. 取組項目

1. 保育の質向上

ねらい:

- 一人一人に寄り添い、個々の発達に合わせた保育を提供する
- 子どもたちの主体性を育み、豊かな感性と社会性を培う
- 保護者との信頼関係を築き、子育て支援を充実させる

目的:

- 保育士のスキルアップ研修の実施
- 異年齢保育の特性を生かした保育カリキュラムの開発
- 保護者との個別面談や子育て相談の充実

想定される姿:

- 子どもたちが笑顔で生き生きと活動する
- 保護者から満足度の高い評価を得る
- 地域から信頼される保育所となる

評価・反省:

- 保育士の研修内容と効果の評価
- 保育カリキュラムの実践と改善
- 保護者アンケートや面談での意見収集

改善:

- 研修内容やカリキュラムの見直し
- 保護者とのコミュニケーションの強化

2. 経営安定化

ねらい:

- 定員縮小による収支改善
- 人件費の適正化
- 効率的な運営体制の構築

目的:

- 適切な職員配置
- 業務分担の見直し
- 自園(自社)採用社員保育士へシフト、外部委託等・専門人材の活用と見直し

想定される姿:

- 収支の黒字化
- 職員の働きがい向上
- 運営の効率化

評価・反省:

- 収支状況の分析
- 職員満足度調査
- 運営の改善点の抽出

改善:

- 職員配置や業務分担の見直し
- 外部委託の範囲拡大

3. 職員体制の強化

ねらい:

- 職員の専門性向上
- チームワーク強化
- 働きやすい環境づくり

目的:

- 研修制度の充実
- コミュニケーションの活性化
- 労働環境の改善

想定される姿:

- 職員のスキルアップ
- 協力的なチームワーク
- 職員の離職率低下

評価・反省:

- 研修の効果評価
- 職員アンケート
- 離職率の分析

改善:

- 研修内容や制度の見直し
- コミュニケーション機会の増加
- 労働環境の改善

IV. スケジュール

時期	内容	担当者
2024年4月	保育カリキュラム改訂	管理者・保育副主任・保育士
2024年6月	職員研修	研修担当(竹中大稀)
2024年7月	中間評価	経営陣
2024年7月～8月	保護者面談	管理者
2024年10月	定員変更	事務担当
2025年3月	年度末評価	経営陣

V. その他

- 本計画は必要に応じて修正を行う

- 職員及び保護者への説明会を開催する

VI. 期待される効果

- 質の高い保育サービスの提供
- 経営的な安定
- 職員の満足度向上
- 地域からの信頼獲得

健生くまのこ園は、本計画を着実に実行することで、超少子化に対応する「子どもたちにとって最適な環境」を提供し、地域社会に貢献できる安定的かつ持続的な小規模保育事業を目指します。